

グループ生産性構造改革(VIC21)の2002年度成果と見通し

当社は2001年11月に発表しました「グループ生産性構造改革(VIC21)」を、2003年9月の完遂に向けて、現在も着実に施策の実行を進めております。現在の進捗については、既に260億円削減の効果に相当する施策が完了しており、当初目標とした「グループ固定費・変動費の300億円削減」の達成に目処をつけております。また、不採算・低採算事業の一掃、海外生産比率50%増など、他の目標についても、既に実施済み・実行中の施策により、いずれも目標値を達成する見通しにあります。

(1) 当初目標に対する2003年3月期の達成状況

当初目標 (2001年11月発表)	2003年3月期の達成状況
グループ固定費・変動費の300億円削減	2001年度比：260億円削減の効果に相当する施策が完了 (2003年度累計は2001年度比：305億円削減の見通し)
生産拠点を含めた国内5拠点以上の統廃合	6拠点
国内・海外の2事業5子会社の収束もしくは再編	8事業10会社
海外生産比率50%増	2000年度比：45%増 (2001年3月期20% 2003年3月期29%)

グループ生産性構造改革は、6つの構造改革(事業構造改革、生産構造改革、購買プロセス改革、マネジメント生産性改革、本社構造改革、資産構造改革)で構成しております。各々の構造改革において、2002年度に実施しました主な施策は下記の通りです。

事業構造改革

- ・旧SSB(ソーシャルシステムズビジネス)カンパニーの分割
- ・CSB(クリエイティブサービスビジネス)事業再編と同カンパニーの解消
- ・ECB(エレクトロニクスコンポーネンツビジネス)カンパニー傘下の車載統轄事業部を新カンパニーに昇格
- ・リレ生産子会社の商品事業会社化
- ・ペーパードリフトリソグ事業の収束、駐車場設備事業の営業譲渡、ミリ波事業の収束
- ・OAT(オムニアルファテック株式会社)の事業譲渡など、事業開発本部傘下の4会社の収束・売却 他
- ・CSB(クリエイティブサービスビジネス)カンパニー 6子会社の収束・売却・再編 他

また、2003年7月1日に以下の2事業の分社を予定しております。

- ・HCB(ヘルスカブビジネス)カンパニーの分社化
- ・インタインメント事業の分社化

生産構造改革

- ・2002年度の中国生産量280億円(委託含む)
- ・国内生産人員の20%削減

購買プロセス改革

- ・直接材集中購買の強化に加え、中国本社集中購買センタの設立

マネジメント生産性改革

- ・管理職数および総役割等級の削減

本社構造改革

- ・ 本社部門組織11部門を7部門に集約
- ・ OBA(オムロン・ビジネスソリューションズ株式会社)設立とシェアード・サービス体制の構築

資産構造改革

- ・ 研究開発3拠点の統廃合と遊休資産の売却
- ・ 資産圧縮70億円(2002年4月評価額) 維持経費削減5.5億円/年

早期退職優遇制度

- ・ 早期退職者数は約1,460人(オムロン株式会社および国内子会社における総数)

VIC21の進捗状況につきましては、これからも個別施策の実行とともにその都度公表してまいります。